



登り窯



サイン



作品



展示室の徳利



展示室 器



焼かれる前の器



岡本 作礼  
Sakurei Okamoto  
岡本 修一  
Syyuichi Okamoto

作礼氏  
▶1958年生まれ

- 駐車場 (4台)
- 作業風景見学
- 体験教室
- 要連絡

窯印・作家印▶

# 作礼窯

サク  
レイ  
ガマ



唐津市厳木町平之 279  
TEL.0955-63-4680

「伝統は常に最先端なものが残っている。自分の作品は、根っこに伝統的なベースがあって、新しいものをつくることを念頭に作陶に取り組んでいる」窯元の作風についてそう語る作礼さん。毎日の生活の全てが自分の感性を磨き、新たなものを生み出すためのストックになるとアンテナを張って日々過ごして、作陶にフィードバックさせる。素材は唐津市内で採れるものでないと意味がないと話す。目に見えないことだが、消費者にはそれがわかる。地域性と伝統に恵まれた唐津だからこそ、唐津の名を汚さぬように、1つ1つ手を抜かずにつくり続ける。「物を作る仕事ができる幸せだ」生き生きと作陶に向かう少年のような作礼さんの姿が印象的だった。

日常生活全てが、感性を磨く舞台。